

## 第 25 回 からくり改善くふう展 2020/ 製造現場における「見える化・IoT」改善展 2020

### 出品特別枠『チャレンジブース』のご案内

平素より格別のご支援を賜わり、厚くお礼申しあげます。

皆様にご支援ご協力をいただき 25 回目を迎えます『からくり改善くふう展 2020/製造現場における「見える化・IoT」改善展 2020』をつぎのとおり開催いたします。本展は、からくり改善による改善事例を展示する日本最大級の事例作品展であり、日本のモノづくりの意識および技術向上をめざし開催するものです。

今回、初出品企業様等を対象に本展特別枠「チャレンジブース」の設置を企画いたしました。

これは、本展に出品しやすくすることで幅広い企業様にご参画いただき、本展での学びの機会を増やし、各社様のからくり改善のさらなる活用と深化につなげていただきたいとの思いからです。

からくり改善を始めたばかり、少しやっているだけ、しばらく出品していないなど、出品に踏み切れなかった企業様は、この機会にご出品をご検討いただきたく、ご案内申しあげます。

#### 1. 開催概要

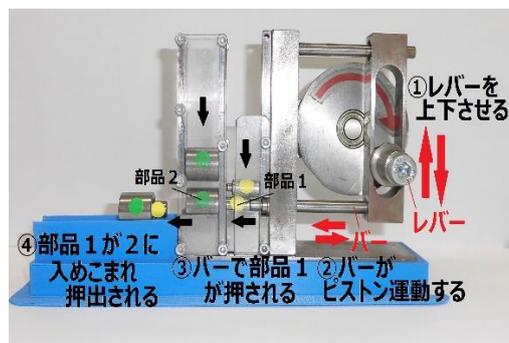
名 称	第 25 回からくり改善くふう展 2020/製造現場における「見える化・IoT」改善展 2020
場 所	ポートメッセなごや 第 3 展示館（愛知県名古屋市港区金城ふ頭 2 丁目 2）
会 期	2021 年 3 月 10 日（水）10：00～16：30、3 月 11 日（木）10：00～16：00 ※準備 3 月 9 日（火）13：00～17：00
主 催	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
開催趣旨	からくり改善くふう展・製造現場における「見える化・IoT」改善展は、改善（工夫した）事例の展示と説明、企業間交流を通じて、人と情報、技術の交流を図り、日本のモノづくり企業の意識や技術の向上に寄与する



全体風景



ブースの様子



作品例「簡単な機構の組み合わせによる  
部品の組付治具」

#### 2. 特別『チャレンジブース』出品要項

##### (1) 名称 新規参画企業が集う『チャレンジブース』

##### (2) 出品資格

つぎの 3 つの条件を満たせば、『チャレンジブース』にご出品いただけます。

1. 初めて出品する、もしくは過去 3 年程度出品がない
2. 出品作品数が少数（1 - 2 点程度）
3. 日本国内に連絡窓口がある

- (補足) ※**チャレンジブース**と通常ブースの併行出品はできません  
※**チャレンジブース**へは複数年連続出品することはできません  
※関係会社として合同出品した企業様は実績ありと見なします  
※営業目的での出品は固くお断りいたします

(3) 出品作品の種類と数 ※末頁の作品区分と例をご参照ください

**種類** : 改善・工夫をした現物、ミニチュア、動画（写真）など、仕組みをオープンにし、来場者が真似て活用して差し支えないもの、安全が確保できるもの  
※知的財産流出につながる作品の展示は固くお断りいたします  
※営業につながる作品展示は固くお断りいたします

**数** : 1 - 2点程度

(4) 展示スペース（ブース）の大きさ

（幅）3600mm × （奥行）3000mm 以内  
※幅は900mm単位で選択可能です  
※奥行は3000mmで固定です



(5) 展示方法

- （方法）通常スペースの一面に**チャレンジブース**を設け、**チャレンジブース**にエントリーした複数の企業様が同一スペースでご展示いただきます。スペース内に企業毎の仕切パネル等は設けません  
（準備）出品作品の展示準備は、出品企業自身が準備日に会場に赴き、時間内におこないます  
（会期中の対応）会期中は、作品ごとに作品説明員を常時配置し、作品説明をおこないます  
（片付）出品作品の撤去および展示スペース内の片付けは、最終日終了後、出品企業にて指定時間内におこないます  
（備品）展示スペースで使用する備品（展示台など）は主催者が準備します（一部有料備品あり）

(6) 出品御礼

- ・ 当会技術アドバイザによる作品アドバイスシートの進呈
- ・ 1社につき1日分招待券1枚の進呈
- ・ 1作品につき2日分作品説明員用入場券（説明員パス）2枚の進呈
- ・ 出品記念「楯」1基の進呈
- ・ 1日入場券の特別料金での購入
- ・ 1作品につき1日分入場券2枚の進呈【当会会員企業のみ適用】

(7) 出品申込み方法と今後のスケジュール（予定）

- ・ 出品申込み： 2020年10月16日（金）締切  
（申込方法）出品申込書に必要事項を記載のうえ、メールにてお申込みください  
※連絡事項欄に「チャレンジブースに出品」と記載してください  
（送付先）[karakuri2020@nagoya-nsc.co.jp](mailto:karakuri2020@nagoya-nsc.co.jp)  
（申込書）<http://jipm-event.com/karakuri/exh/2020exh-show>
- ・ 展示作品の詳細連絡： 2020年12月10日（木）締切
- ・ 出品スペース内のレイアウトと備品申込み： 2020年12月21日（月）締切

(8) その他

- ・ 来場者による優秀作品投票の対象にはなりません
- ・ 出品に関する詳細案内は、申込み後にご案内いたします

からくり改善@くふう展の区分と作品例

区 分	作品例
a. 重筋作業 ・作業姿勢の改善	重量物の持上補助装置、投入補助装置、部品の自動払出・回収、昇降装置、重量物取扱い軽減、不良姿勢作業の改善（ストライクゾーン）など
b. 作業効率改善 (作業のやりづらさの改善)	段取り時間の短縮改善、ナットなどの1個取出し、部品の選別、治具のワンタッチ化、部品・工具の手元化、定位置化、作業に合わせた工具の改善、刃具の交換時間短縮、局所カバーの工夫、スキルレス化など
c. 歩行・運搬口スの改善	搬送装置、搬送補助装置、部品供給の自動化、物流改善、搬送方法の改善、作業動線の短縮など
d. 現場の危険を排除する改善	ヒヤリハット対策、ポカヨケ装置、材料混入防止、員数確認の見逃し防止、転倒防止ストッパー、落下防止、自動安全ブレーキ、吊り作業の容易化、安全柵の改善、音・粉塵・熱・照度の対策、液体漏洩防止治具など
e. 省エネ・省スペース改善	CO2削減、動力レス、既存動力の削減、置き場の省スペース化、設備・治具の極小化など
f. その他	設備診断機器、検査装置、寸法測定機器、メーターの限界表示、バルブの開閉表示、3点セットの改善、ボルトのアイマーク、清掃困難箇所・清掃時間短縮のための道具改善、清掃服の工夫など

製造現場における「見える化・IoT改善」展の区分と作品例

①改善・工夫をした現物・内容を展示（掲示）

a. 問題点の見える化	ロス、正常・異常、危険要因、作業、在庫などの見える化事例など
b. 結果の見える化	改善成果、コスト、活動状況などの見える化事例など
c. 知識・技術・技能の見える化	作業手順、熟練者作業、ノウハウ、スキル、などの見える化事例、ワンポイントレッスン、各種マニュアルなど
d. プロセスの見える化	工程（モノの流れ）、設備稼働状況、作業進捗、生産状況、保全計画・保全情報などの見える化事例など
e. 目で見える管理・目で見える表示	締結、潤滑、圧力計、バルブ、配管、電装部品、工具、測定具などの、目で見える管理・表示

②IoT等の新ツール活用（社内の改善で生まれた内製品が対象。購入品そのものや外販用のものは除く）

f. モニター化	設備稼働状況、生産状況、異常検知、保全計画・保全情報など
g. センシング	振動・電流・熱などの設備の正常・異常情報の収集、設備稼働情報の収集など
h. 分析ツール	生産性、品質、安全性担保、保全周期・修理情報など、現場情報を分析するツールの活用など
i. 機器の活用他	タブレット端末・スマートフォン、ドライブレコーダー等、一般的なツールや機器の活用など

③その他

j. 予備品管理方法の改善	予備品の発注点方式、置き方の改善など
k. 管理・間接部門の改善	巻き紙分析、事務所のレイアウト変更など
l. 技術技能評価や教育教材	技能スキル評価法、カットモデル、教育マニュアル、良品マニュアル、安全マニュアル、現場での各種表示など
m. 解析	チョコ停解析、加工点解析、故障解析、動画マニュアルなどの教材など
n. その他	